

# Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



北はりま旬菜館開業4周年の節目に「ありがとう4周年 旬菜まつり」。写真は新鮮なトマトの試食会（7月4日・5日、北はりま旬菜館）



第17回「あなたが主役フェスティバル」。舞踊やパレエなど日ごろの練習の成果を披露するステージ発表やのど自慢などが行われました。市民企画委員会「0」主管（7月12日、市民会館）



7月は社会を明るくする運動強調月間。「更生保護の日」である運動初日に、西脇多可保護司会が総理大臣メッセージを市長に伝達（7月1日、西脇市役所）



播州織を次の世代へ。株式会社播と文化服装学園ファッションテクニカル科による共同展示（8月下旬まで、西脇市役所）

## 高校生が震災復興ボランティアで東北へ

〔7月21日 西脇市役所／出発式〕



宮城県南三陸町に向かう西脇北高校生ら

東日本大震災の被災地復興を支援するため、西脇高校の生徒32人が7月18日から20日まで、西脇北高校をはじめとする県内高校の生徒52人が21日から24日まで、宮城県南三陸町でボランティア活動を実施しました。生徒らは被災者との交流や漁業・農業の復興支援などを行いました。

## 高校生がネパール支援の茶会を開催

〔6月28日 コミュニティセンター西脇区会館〕



お茶を振る舞う高校生たち

西脇高校と西脇工業高校の茶道部員55人が、ネパール大地震の被災者を支援する「チャリティティー茶会」を開催しました。会場には募金箱を設置し、収益の一部と合わせて在日ネパール大使館を通じて寄付。生徒らは「物資が不足していると聞いた。復興に少しでも役立てれば」と話しました。

## 播州織の魅力を発信—第7回七夕ゆかたまつり

〔7月4日 播州織工房館ほか〕



播州浴衣ファッションショー

西脇のまちの活性化や播州織の魅力発信などを目的として、「第7回七夕ゆかたまつり」浴衣で彩る西脇の夏」が開催されました。「播州浴衣ファッションショー」には、市民や神戸芸術工科大学の学生らが多数登場したほか、浴衣帯の前結び実演も行われました。



上) まちづくり活動を紹介するパネルを展示 下) 「地域医療を支える市民の会」が「賢い患者」になるための紙芝居を実施

各地区やさまざまな団体が行う「まちづくり活動」を多くの方に知ってもらうために、市制10周年記念「まちづくりフェスタ」が開催されました。まちづくり活動を紹介するパネル

ル展示やグルメコーナーのほか、大リーグ研究家「今里純」特別展示も行われました。また、ラジオパーソナリティーの谷五郎さんによる講演「ふるさとに生きる」もありました。

## まちづくり活動を発信—まちづくりフェスタ

〔7月5日 生涯学習まちづくりセンター〕



上) 防災ヘリコプターについて説明を聞く生徒たち 右) 校舎からの救助訓練



西脇消防署の藤原正勝署長が「地震はいつどこで発生するかかわからない。日ごろから地震への準備をしっかりしておきましょう」と述べると、生徒会長の足立梓さんは「世界で起きている地震の5分の1が日本で発生していると聞いて驚いた。これまで大きな災害を経験したことがないけど、今日の訓練を踏まえて自分の身を守るようになりたい」と話しました。

黒田庄中・西脇消防署・兵庫県消防防災航空隊の合同訓練がありました。訓練は「震度6強の地震で校舎が被害を受け生徒の何人かが校舎に取り残された」という設定で行われました。緊急避難放送を聞いた生徒たち189人は「避難訓練」実施した後、西脇消防署のはしご車隊や県消防防災航空隊のヘリコプターによる救助活動の様子を見学。災害時の心構えや消火器の扱いなどを学びました。

## 地震に備え合同訓練を実施

〔7月9日 黒田庄中学校〕

# まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！